



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社うるる 上場取引所 東
コード番号 3979 URL <https://www.uluru.biz/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 星 知也
問合せ先責任者(役職名) 執行役員 Co-CFO (氏名) 内丸 泰昭 (TEL) 03(6221)3069
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA(※)		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	4,115	17.3	1,002	792.2	864	—	857	—	551	—
2023年3月期第3四半期	3,509	18.4	112	190.2	45	—	50	—	△11	—

(※) EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 553百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 △12百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第3四半期	79.77	—	—	—
2023年3月期第3四半期	△1.72	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	5,336	2,644	49.6
2023年3月期	4,621	2,088	45.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 2,644百万円 2023年3月期 2,088百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	23.4	1,500	—	1,300	—	1,280	—	800	—	115.70

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	6,925,400株	2023年3月期	6,917,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	5,908株	2023年3月期	308株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	6,916,205株	2023年3月期3Q	6,912,879株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.6「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成30年版「情報通信白書」によると、日本の生産年齢人口は2017年から2040年にかけて約1,600万人減少することが推計されており、労働力不足による経済規模の縮小、国際競争力の低下といった社会的・経済的な課題が深刻化することが危惧されております。そのような状況の中、当社グループはこれまで様々な領域において労働力の代替ソリューションとなる事業をSaaSを中心に複数展開してまいりました。

2022年4月には、コーポレートビジョンを「労働力不足を解決し 人と企業を豊かに」へと刷新し、今後は「労働力不足解決のリーディングカンパニー」を目指し上記社会課題の解決に一層向き合っております。

当社グループは、「在宅ワークのスタンダード化」を目指して、2003年11月に企業のアウトソーシング・ニーズの受け皿となるBPO (Business Process Outsourcing) 事業を開始いたしました。その後、受託する業務量の増加に伴うニーズの多様化を受け、より効率的に運営を行うことを目的として2007年2月に当社グループを経由せずにクライアントと主に主婦のクラウドワーカーの業務受発注をマッチングさせるクラウドソーシング事業「シュフティ」を開始。さらに、BPO事業で培われたノウハウとクラウドソーシング事業が持つリソースを掛け合わせることで、当社グループ自身がクラウドワーカーを活用して新たなサービスを創出するCGS (Crowd Generated Service) 事業として、現在も売上高の約半分及び利益の大半を占める主力サービスである官公庁等の入札情報を提供する入札情報速報サービス「NJSS (エヌジェス)」を2008年9月に開始いたしました。その後、2014年10月に幼稚園・保育園向けの写真販売管理システム「えんフォト」、2019年2月にクラウドワーカーを活用した電話受付代行サービス「fondesk」を開始。また2020年12月にはえんフォトとのシナジー創出を目的に出張撮影マッチングサービス「OurPhoto (アワーフォト)」を運営するOurPhoto株式会社の全株式を、2023年1月にはNJSSとの連携を目的に入札情報検索サービス「nSearch」を運営する株式会社ブレインフィードの全株式をそれぞれ取得して完全子会社化し、現在の事業構成へと至っております。

「NJSS」・「fondesk」・「えんフォト」・「nSearch」はいずれもSaaS (Software as a Service) であり、現在ではSaaS事業が当社グループの成長の基盤となっております。そのようなSaaS事業を取り巻く環境につきましては、富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2023年版」によると、国内SaaS市場規模は、2023年度において14,128億円の見込みとなっており、2027年度には20,990億円に達すると予測されております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は4,115,490千円(前年同期比17.3%増)、EBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却額(以下同様))は1,002,870千円(前年同期比792.2%増)、営業利益は864,015千円(前年同期比1,806.8%増)、経常利益は857,075千円(前年同期比1,602.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は551,721千円(前年同期は11,922千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。また、NJSS、nSearch、えんフォト、fondeskといったSaaSのARR(年間経常収益)を合計した全社ARRは42億円を超え成長基調を継続しております。

全社 KPI	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
売上高(百万円)	1,062	1,197	1,249	1,352	1,292	1,349	1,473	-
SaaS売上高(百万円)	791	848	898	966	1,004	1,030	1,080	-
その他売上高(百万円)	271	348	350	386	288	318	393	-
売上総利益(百万円)	772	865	900	956	965	995	1,062	-
営業利益(百万円)	△47	23	68	△36	237	291	334	-
EBITDA(百万円)	△27	45	94	△6	280	336	386	-
ARR(百万円)	3,170	3,367	3,535	3,776	3,979	4,036	4,234	-
従業員数(人)	318	324	331	338	344	341	346	-

(注) 1. SaaS売上高: 「NJSS」「nSearch」「fondesk」「えんフォト」の売上高の合計額。

2. その他売上高: 「OurPhoto」「BPO」「シュフティ」の売上高の合計額。

3. ARR: 「NJSS」「nSearch」「fondesk」「えんフォト」の年間経常収益の合計額。

4. 従業員数: 臨時雇用者(パートタイマー、人材会社からの派遣社員)を含む。臨時雇用者数は、年間の平均人員を換算。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

事業別	前連結会計年度第3四半期 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当連結会計年度第3四半期 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		売上高 前期比 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	
CGS事業	2,636	75.1	3,220	78.3	22.1
NJSS	1,746	49.7	2,105	51.1	20.6
fondesk	479	13.7	622	15.1	29.8
フォト	410	11.7	493	12.0	20.0
その他	—	—	—	—	—
BPO事業	851	24.3	873	21.2	2.6
クラウドソーシング事業	21	0.6	20	0.5	△1.6
合計	3,509	100.0	4,115	100.0	17.3

① CGS事業 NJSS

CGS事業の主力SaaSである「NJSS」については、「ARPU(一件当たり日割り売上高)と有料契約件数の最適化を図ることで将来に渡る売上高を拡大する」という方針に基づき各種施策を展開した結果、有料契約件数は、2023年12月末時点で6,377件と、2023年3月末比で655件増加いたしました。ARPUは1,158円となりましたが、今後、新機能リリース等により、中長期的に維持・増加を目指してまいります。また、有料契約件数をベースにした12ヶ月平均の解約率は1.47%(同2023年3月末1.44%)と前連結会計年度から1.4%台を維持しており、ARR(年間経常収益)は28億円を超えるなど成長を続けております。

このほか、2023年1月に完全子会社化した株式会社ブレインフィードが運営する入札情報検索サービス「nSearch(エヌ・サーチ)」とのシナジー創出や、公共機関の事業(予算)情報や公開・統計情報、入札データからみる自治体の傾向・特徴、アプローチに必要な組織情報を一括検索・管理できる情報支援ツール「GoSTEP」の展開などに注力したうえ、2023年11月にはNJSSで蓄積された入札関連ノウハウと、うるるBPOが保有する案件履行にかかるノウハウを掛け合わせたBPaaS「入札BPO」を提供開始するなど、新たな取り組みに着手しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるCGS事業 NJSSの売上高は2,105,066千円(前年同期比20.6%増)となり、セグメントEBITDAは1,156,386千円(前年同期比71.2%増)、セグメント利益は1,090,878千円(前年同期比64.3%増)となりました。

NJSS KPI	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
売上高(百万円)	552	584	608	640	672	709	722	-
売上総利益(百万円)	508	535	563	588	620	655	670	-
EBITDA(百万円)	191	216	268	265	344	401	410	-
ARR(百万円)	2,215	2,312	2,374	2,471	2,654	2,754	2,801	-
NJSS 有料契約件数	4,968	5,183	5,398	5,722	5,980	6,247	6,377	-
NJSS ARPU (円)	1,195	1,195	1,190	1,164	1,166	1,162	1,158	-
NJSS 解約率(%)	1.45	1.46	1.42	1.44	1.44	1.42	1.47	-
NJSS LTV(千円)	2,255	2,264	2,318	2,189	2,208	2,255	2,174	-
nSearch 有料契約件数	-	-	-	423	485	550	565	-
従業員数(人)	107	107	110	111	114	111	112	-

(注) 1. ARR: 「年間経常収益」。各四半期末時点のMRRに12を乗じて算出。当連結会計年度第1四半期より、「nSearch」「GoSTEP」等の周辺サブスクリプションビジネスも含めたMRRに12を乗じた数値

2. ARPU: 有料契約一件当たりの日割り売上高。

3. 解約率: 前月末有料契約件数に対する当月解約件数の割合。上表は12か月平均の数値。

4. LTV: 「顧客生涯価値」。ARPU×1/解約率×粗利率90%で算出。

5. 従業員数: 臨時雇用者(パートタイマー、人材会社からの派遣社員)を含む。臨時雇用者数は、年間の平均人員を換算。同定義でブレインフィードを含む。

② CGS事業 fondesk

CGS事業におけるSaaSである「fondesk」は、バックオフィス業務のDX化を支援するサービスの一つとしての認知を拡大させ着実に需要を取り込んだことで、2023年12月末時点で有料契約件数が4,682件(2023年3月末比628件増加)と成長いたしました。また、ARPUは15,274円と料金改定を行った2022年7月以降は15,000円前後の水準を安定して推移しています。加えて、UI・UX改善のためのシステム改修を行うなどユーザー利便性向上に継続的に取り組んできた結果、有料契約件数をベースにした12ヶ月平均の解約率は1.3%(同2023年3月末1.5%)と最低水準の解約率を継続しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるCGS事業 fondeskの売上高は622,718千円(前年同期比29.8%増)となり、セグメントEBITDAは200,083千円(前年同期比371.2%増)、セグメント利益は199,441千円(前年同期比375.3%増)となりました。

fondesk KPI	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
売上高(百万円)	136	167	175	180	201	206	214	-
EBITDA(百万円)	△4	11	35	△72	62	61	75	-
有料契約件数	3,550	3,718	3,896	4,054	4,272	4,469	4,682	-
ARPU (円)	12,840	14,987	15,056	14,810	15,725	15,412	15,274	-
解約率(%)	1.6	1.6	1.5	1.5	1.4	1.3	1.3	-
ARR(百万円)	547	668	703	720	806	826	858	-
従業員数(人)	16	15	15	15	14	15	15	-

(注) 1. ARPU: 有料契約一件当たりの月割り売上高。

2. 解約率: 前月末有料契約件数に対する当月解約件数の割合。上表は12か月平均の数値。

3. ARR: 「年間経常収益」。各四半期サブスクリプション売上高と各四半期リカーリング売上高の合計に4を乗じて算出。

4. 従業員数: 臨時雇用者(パートタイマー、人材会社からの派遣社員)を含む。臨時雇用者数は、年間の平均人員を換算。

③ CGS事業 フォト

CGS事業におけるSaaSである「えんフォト」は、園当たり売上高は31,079円（前連結会計年度第3四半期は28,983円）と成長したうえ、2023年12月末の契約園数は4,624園（2023年3月末比438件増加）と契約数も堅調に伸ばいたしました。また、2020年12月に完全子会社化した出張撮影マッチングサービス「OurPhoto（アワーフォト）」を運営するOurPhoto株式会社についても、えんフォトとのシナジー創出やマーケティング施策の展開等に注力いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるCGS事業 フォトの売上高は493,030千円（前年同期比20.0%増）となり、セグメントEBITDAは18,602千円（前年同期は△171,555千円）、セグメント損失は5,335千円（前年同期は195,201千円のセグメント損失）となりました。

フォト KPI	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
売上高(百万円)	126	114	170	161	156	133	203	-
EBITDA(百万円)	△56	△74	△40	△38	13	△15	20	-
えんフォト 契約園数	3,757	3,835	3,942	4,186	4,339	4,525	4,624	-
えんフォト 園当たり売上高(円)	27,097	25,222	28,983	34,882	29,901	25,164	31,079	-
えんフォト ARR(百万円)	407	386	457	584	518	455	574	-
OurPhoto 撮影件数(件)	4,551	3,165	9,381	3,138	3,977	2,813	9,257	-
従業員数(人)	36	36	35	36	37	36	37	-

(注) 1. ARR：「年間経常収益」。各四半期リカーリング売上高に4を乗じて算出。

2. 従業員数：臨時雇用者（パートタイマー、人材会社からの派遣社員）を含む。臨時雇用者数は、年間の平均人員を換算。

④ BPO事業

BPO事業におきましては、リモートワークの社会浸透や2023年10月から開始されたインボイス制度への対応、2024年1月から対応が必要となった電子帳簿保存法などを背景とする紙の電子化需要などにより引き合いが好調に推移したなかで、大型案件の受注に成功いたしました。なお、当該大型受注の売上高は、当第3四半期には計上されておらず、第4四半期に計上される見込みです。また、2023年11月にはNJSSで蓄積された入札関連ノウハウと、うるるBPOが保有する案件履行にかかるノウハウを掛け合わせたBPaaS「入札BPO」を提供開始するなど、新たな取り組みに着手しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるBPO事業の売上高は873,750千円（前年同期比2.6%増）となり、セグメントEBITDAは95,548千円（前年同期比87.2%増）、セグメント利益は57,054千円（前年同期比117.8%増）となりました。

BPO KPI	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
売上高(百万円)	239	323	288	364	255	291	326	-
EBITDA(百万円)	△7	50	7	11	13	37	44	-
従業員数(人)	119	123	126	132	135	134	134	-

(注) 従業員数：臨時雇用者（パートタイマー、人材会社からの派遣社員）を含む。臨時雇用者数は、年間の平均人員を換算。

⑤ クラウドソーシング事業

クラウドソーシング事業におきましては、「シュフティ」に登録されているクラウドワーカー数は2023年12月末時点で約45万人となっておりますが、CGSにリソースを供給するためのプラットフォームとして、ユーザー利便性向上のためのサービス改修や安定的運営のためのカスタマーサポート改善に継続的に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるクラウドソーシング事業の売上高は20,925千円(前年同期比1.6%減)となり、セグメントEBITDAは△7,575千円(前年同期は△14,666千円)、セグメント損失は7,716千円(前年同期は14,953千円のセグメント損失)となりました。

クラウドソーシング KPI	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
売上高(百万円)	7	7	6	6	6	7	7	-
EBITDA(百万円)	△2	△4	△7	0	△4	△1	△2	-
従業員数(人)	6	6	6	6	6	5	5	-

(注) 従業員数：臨時雇用者(パートタイマー、人材会社からの派遣社員)を含む。臨時雇用者数は、年間の平均人員を換算。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、前連結会計年度末と比べ714,809千円増加し、5,336,392千円となりました。これは主に現金及び預金の増加656,973千円、売掛金の減少60,615千円、投資有価証券の減少11,600千円、無形固定資産その他の増加156,533千円によるものです。

負債については、前連結会計年度末と比べ158,938千円増加し、2,691,694千円となりました。これは主に未払法人税等の増加148,131千円、契約負債の増加69,198千円、賞与引当金の増加41,126千円、流動負債その他の減少90,333千円によるものです。

純資産については、前連結会計年度末と比べ555,870千円増加し、2,644,698千円となりました。これは資本金の増加1,130千円、資本剰余金の増加1,130千円、利益剰余金の増加551,721千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期連結業績予想については、2023年5月15日に決算短信で公表した内容に変更はございません。

また、2023年11月14日に新たに2025年3月期以降の経営方針・目指す姿を公表いたしました。詳細は、2023年11月14日開示の「2025年3月期以降の経営方針に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,396,104	3,053,078
売掛金	343,102	282,487
仕掛品	34,536	70,753
その他	161,167	189,432
貸倒引当金	△3,477	△4,641
流動資産合計	2,931,434	3,591,109
固定資産		
有形固定資産	201,283	225,119
無形固定資産		
のれん	434,211	379,046
その他	245,921	402,455
無形固定資産合計	680,133	781,502
投資その他の資産		
投資有価証券	448,663	437,063
その他	360,068	301,598
投資その他の資産合計	808,732	738,661
固定資産合計	1,690,149	1,745,283
資産合計	4,621,583	5,336,392
負債の部		
流動負債		
買掛金	167,031	189,361
1年内返済予定の長期借入金	38,880	8,670
未払法人税等	81,295	229,427
契約負債	1,481,810	1,551,008
賞与引当金	—	41,126
その他	751,018	660,684
流動負債合計	2,520,037	2,680,278
固定負債		
その他	12,718	11,415
固定負債合計	12,718	11,415
負債合計	2,532,755	2,691,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036,616	1,037,746
資本剰余金	1,018,916	1,020,046
利益剰余金	33,600	585,322
自己株式	△353	△353
株主資本合計	2,088,780	2,642,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	1,936
その他の包括利益累計額合計	47	1,936
純資産合計	2,088,827	2,644,698
負債純資産合計	4,621,583	5,336,392

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,509,966	4,115,490
売上原価	972,020	1,092,426
売上総利益	2,537,945	3,023,064
販売費及び一般管理費	2,492,633	2,159,049
営業利益	45,312	864,015
営業外収益		
受取利息	15	16
受取配当金	89	93
補助金収入	7,400	10,640
その他	1,425	2,696
営業外収益合計	8,931	13,445
営業外費用		
支払利息	255	104
投資事業組合運用損	2,762	19,462
その他	883	818
営業外費用合計	3,901	20,385
経常利益	50,342	857,075
税金等調整前四半期純利益	50,342	857,075
法人税、住民税及び事業税	76,870	262,597
法人税等調整額	△14,605	42,757
法人税等合計	62,265	305,354
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,922	551,721
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,922	551,721

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,922	551,721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△527	1,889
その他の包括利益合計	△527	1,889
四半期包括利益	△12,450	553,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,450	553,610

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	CGS事業 NJSS	CGS事業 fondesk	CGS事業 フォト	CGS事業 その他	BPO事業	クラウド ソーシング 事業	計		
売上高									
外部顧客 への売上 高	1,746,138	479,906	410,901	—	851,764	21,256	3,509,966	—	3,509,966
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	—	—	—	280	5,663	5,943	△5,943	—
計	1,746,138	479,906	410,901	—	852,044	26,920	3,515,910	△5,943	3,509,966
セグメン ト利益又 は損失 (△)	663,762	41,962	△195,201	△37,967	26,191	△14,953	483,794	△438,481	45,312

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△438,481千円は、セグメント間取引消去△4千円、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に販売費及び一般管理費)△438,477千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	CGS事業 NJSS	CGS事業 fondesk	CGS事業 フォト	CGS事業 その他	BPO事業	クラウド ソーシング 事業	計		
売上高									
外部顧客 への売上 高	2,105,066	622,718	493,030	—	873,750	20,925	4,115,490	—	4,115,490
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	—	—	—	315	12,098	12,413	△12,413	—
計	2,105,066	622,718	493,030	—	874,065	33,023	4,127,904	△12,413	4,115,490
セグメン ト利益又 は損失 (△)	1,090,878	199,441	△5,335	△31,204	57,054	△7,716	1,303,118	△439,102	864,015

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△439,102千円は、セグメント間取引消去△532千円、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に販売費及び一般管理費)△438,570千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、報告セグメントごとの業績をより適切に評価するため、M&Aに関わる費用は報告セグメントに帰属しない全社費用として「調整額」に区分しております。

第1四半期連結会計期間よりブレインフィード社の業績を連結に含めるに当たり、ブレインフィード社が自社サービスとして展開する入札情報検索サービス「nSearch」の事業内容を踏まえて、区分を「CGS事業NJSS」セグメントに変更しております。

なお、2023年1月4日(みなし取得日 2023年3月31日)にブレインフィード社の株式を取得したため、この報告セグメントの変更が、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報に与える影響はありません。